

この女性に聞く

konohi? iku

大日本コンサルタント(株)
北陸支社技術部
構造・保全計画室 主任

吉澤 直子^{さん}

充実感が得られる仕事



「やはり自分の設計した橋ができたとき、そして解析結果が予想通りに収まったときに充実感が得られます」

入社から10年目。下部工（支承条件、杭種杭径）の検討、詳細設計、新設橋の耐震設計、既設橋の耐震補強設計など構造・保全計画分野で多岐にわたる設計業務に携わっている。

今も杭種杭径の検討、支承詳細設計、耐震補強の3件を同時並行的に進めている。

「地球環境に易しい」緑化関係に携わりたいと、大学は土木建設工学科に進んだが、在学中に起こった阪神・淡路大震災で地震・災害関係に興味を持

ち、現職に就いている。

この間で印象強く残る業務はほぼ5年前の拡幅橋の設計。「特に既設橋との取り合い調整や河川専用申請資料の作成に時間を要するなど、仕事漬けの毎日で、いろいろな意味で充実していました」

近く二人目の産休に入る。

独身時代の週末は近くの図書館通いが定番だったが、最近では子供を預けての買い物が息抜きになっている。

金沢大学工学部土木建設工学科卒。富山県小矢部市出身。

(川端哲郎)